

江田島市議会議長 酒永光志 様

第1班 班長 平川 博之

市民懇談会（議会報告会）実施結果報告書

開催日時	令和 6 年 11 月 22 日（金） 10 時 00 分 ～ 11 時 30 分			
開催場所	三高会館			
出席議員	班 長	平川 博之		
	司 会	吉野 伸康	記録者	平本 美幸
	オブザーバー	上松 英邦、浜西 金満、岡野 数正、 長坂 実子、上本 雄一郎		
参加団体	地域住民をはじめ広く一般市民			
参加人数	5 人			
議会報告の概要	・ 議会だより 78 号（令和 6 年 5 月 1 日）の令和 6 年度予算の報告 ・ 「人口減少問題」等をテーマに意見交換 ・ 質疑応答（意見・要望等）			
主な意見・要望	別紙のとおり。			
まとめ	江田島市は豊かな自然環境に恵まれ、また、心温まる人と人とのつながりを感じられる、どのまちよりも豊かさの感じられるまちである。人口減少が続く中でも、江田島市に『住みたい！住み続けたい！』と思える持続可能なまちづくりを進めるためには、SNS などを活用して市の魅力を積極的に発信することが重要である。 また、江田島市の 1 次産業（農業漁業）を核に、加工・販売までを一体化した 6 次産業化を推進・充実させ、島の特色を最大限に生かした産業が必要であり、その取組により、観光客や移住者を呼び込み、交流人口の増加や定住の促進を目指すべきである。			

(1) 子育て世代を含む人口を増やすために、公園の整備が必要

- 江田島市は豊かな自然環境があるにもかかわらず、市内にはこどもたちが遊べる大きな公園がないために他の市町に行かなければならない。
- 江田島市への移住定住を促進するために、子育て世代が魅力を感じる環境整備が重要であり、その一環としての公園の整備が有効である。
- 公園整備により、こどもを通じた観光客の誘致ができるのではないかな。
- 幅広い世代が利用できる場としての公園整備が必要である。
- 公園を通じての賑わいづくりが必要なのではないかな。公園近隣に温泉や宿泊施設、道の駅等の施設があることで観光も充実するため、外貨を獲得できると思われる。

(2) 交通体系の整備及び支援が必要

- こどもが小さい間は自然環境の良い江田島市で子育てをしたいが、市外の高等学校への進学に伴う交通費が家計の大きな負担となっているため、交通支援策の充実が必要ではないかな。こどもの進学先の市町に住んだ方が経済的で利便性が良いと思われるため、江田島市に住み続けられるかどうか不安に感じる。
- 江田島市からの公共交通手段である航路維持のために、交通事業者への補助や、市民向けの交通費補助制度をもっと充実させるべきである。
- 高齢者が免許返納できないほど交通体系の整備が不十分であり、地域全体での支援体制の構築が必要である。

(3) イノシシ対策

- 農作物の被害が年々大きくなっている。
- 捕獲活動に携わる人材の減少が問題であり、地域での担い手確保や捕獲後の支援体制の強化が必要である。
- 長期にわたり取り組んできたものの依然としてイノシシ被害が深刻になっている。人家や道路にも出てくるのでとても危険であり、より効果的な防除対策が必要である。

(4) SNS の発信力の強化

- 江田島市には魅力がたくさんあるのに、発信力が弱い。SNS による江田島市の魅力発信を強化してはどうか。
- 若い世代に議会活動を伝えるために積極的に SNS を活用し、親しみやすく正確な情報を発信することで、若い世代の政治離れの対策になるのではないかな。

(5) 1 次産業の活性化

- 農産物・海産物の振興を強化し、島の特色を活かした 1 次産業をさらに活性化させることで、その魅力を効果的にアピールすることが必要。